



「京都ブランド」を住宅と宿泊業の視点から講演 都市政策からみた京都ブランドと民泊の可能性

追手門学院大学(大阪府茨木市、学長：川原俊明)は、卒業生団体である大学校友会京都支部の総会行事の一環として、住宅政策が専門の大泉英次地域創造学部教授による、「都市政策からみた京都ブランドと民泊の可能性」講演会を8月5日に京都市内で開催します。

世界中から観光客を集める古都・京都は宿泊施設の進出が続いており、不動産投資先としても人気が高いと言われています。京都市と大阪市の間地点に位置する追手門学院大学は、2015年に地域創造学部を開設し京都の文化や観光振興策を学問対象とするともに、本年2月には京都府宇治市と観光振興や人材育成を目的とした連携協定を結び、京都における取り組みを深めているところです。

大泉教授は日本の住宅政策や都市政策を経済学の視点から研究しており、拡大をみせる京都における民泊の現状や民泊仲介業といった民泊ビジネスの可能性などについて講演を行い、都市政策からみた京都ブランドの魅力に迫ります。

民泊を含む都市政策の観点から京都ブランドを考えるまたとない機会であり、ぜひ取材をご検討くださいますようお願いいたします。

【ポイント】

- 民泊を切り口に都市政策の観点から京都ブランドを捉える講演会の開催。
- 急成長する民泊はビジネスの可能性がある一方でルール整備が急務。将来性と課題を考える。
- 追手門学院大学地域創造学部は京都も学びのフィールド。本年2月に京都府宇治市と連携協定。

【行事概要】

行事名：講演会「都市政策からみた京都ブランドと民泊の可能性」

日時：2017年8月5日(土) 15時30分から 60分程度

会場：京染会館6階大会議室(京都市中京区四条通西洞院西北角 阪急烏丸駅、地下鉄四条駅徒歩5分)

講師：大泉 英次(追手門学院大学地域創造学部 教授)

聴講者：京都府在住の追手門学院大学卒業生ら 40名程度

※当日の連絡先：090-5658-7300(広報課携帯)

この資料の配付先：京都大学記者クラブ、京都市政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL：072-641-9590 谷ノ内・足立